



復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

撓まず 屈せず がんばろう釜石!!

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました



開催日	平成30年8月31日(金)
時間	18:30 ~ 20:20
場所	平田集会所
参加人数	38人

議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本日の趣旨とこれまでのふりかえり 2. 上平田川水門の整備について 3. 旧釜石商業高校周辺の道路の整備について 4. 平田漁港海岸整備について 5. 宅地の整備状況について 6. 土地区画整理事業の換地処分に向けて(今後の流れ) 7. 街路灯の整備について 8. 釜石市区画整理土地活用支援制度について 9. 住宅再建に係る補助制度について 10. 平田地区下水道計画について 11. 意見交換
----	---

当日はこれらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆さまからは、旧商業高校周辺の道路の整備についてや、土地区画整理事業の換地処分に向けて、街路灯の整備についてなど様々なご意見、ご質問をいただきました。

議題の概要

最新の土地利用計画について

平田地区の計画図

【計画の考え方】

◆安全・安心の確保

- ① 施工後の県道桜峠平田線より南側については最大5m程度かさ上げ。
- ② 国道45号を最大2m程度かさ上げ。(宅地は平均0.8mのかさ上げ)
- ③ 下平田川沿いの南北方向に9mの生活道路(区画道路)を整備するとともに、全ての宅地が区画道路に接続するように配置
- ④ 水門及び防潮堤(標高6.1m)を整備
- ⑤ 市民の憩いの場を提供するための公園整備
- ⑥ 道路整備に併せて上下水道施設を整備
- ⑦ 避難路・避難場所の整備
- ⑧ 見守り等地域ネットワークの構築
- ⑨ ごみ箱の整備
- ⑩ 街路灯・防犯灯の整備
- ⑪ 消火栓・防火水槽の設置

◆公共施設等の整備

- ① 生活応援センター、平田こども園、集会施設、消防屯所の整備
- ② 駐在所の移設(上平田へ)
- ③ 岩手大学水産システム学コース・水産系大学院の設置
- ④ 岩手県立釜石祥雲支援学校の移設候補地

◆産業の再生

- ① 漁港の復旧、漁港施設の整備、漁船の確保、養殖漁場や漁業関連施設等整備



※現時点での計画であり、今後の手続き等において変更があります。

街路灯の設置予定箇所について



■主要交差点部等を中心に10箇所設置予定しています。
※ただし、皆様からのご意見を聞き、設置箇所の追加や変更等も検討します。

凡例	
	新設予定(10箇所)
	新設設置済(11箇所)
	既存照明(4箇所)
	撤去された照明(15箇所)
	16~12.5m道路+歩道
	9m道路+歩道
	6m道路
	5m道路
	4m道路
	歩行者専用道路

このようなご意見・ご質問をいただきました



街路灯について、平田小学校国道下をくぐった南側の9m道路に1箇所または2箇所取り付ければ、子供たちの通学路として安全上良いと思うが考えていただきたい。

街路灯につきましては、震災前の設置数を基本として設置箇所の検討をしてまいります。

ただ、地域の皆さんにもご負担はかけますが、防犯灯というものがありますので、そちらとの整合を考えながら調整を図り是非そこに必要だというのであれば切り替えていきたいと考えております。

東側の防波堤を越えて海岸に下がる場所の、今工事している道路について、できれば山側を通過してすぐ防波堤、倉庫の方に降りるような対策はできないものか。

乗越道路と臨港道路を合流させるという計画にしておりますので、乗越道路からすぐ通すのではなく、少し延ばした上で臨港道路と合流させたいと考えております。

旧国道を県に貸していた私有地が、今はなくなってしまったのだが、どうなるのか。

公共用の道路に供与されていた私有地に関しましては、金銭精算ということで処理させていただく予定になっております。

県道から旧商業高校までの道路の幅員は、大型車が安全にすれ違うことが出来るのか。

片側車線で3m確保できておりますので、大型車等の走行は可能であると判断しております。

県道から旧商業高校までの工事中の道路の歩道部分をもう少し狭くしても、車道部分を広げるということは出来ないものか。

実際に道路を作る場合、「道路構造令」という基準があり、国の補助金等をもって整備する中で車の交通量により幅員の構成が決まってきます。こちらの道路は幹線道路にはなっておりませんので、国の補助金をもって施工する中では今の幅員構成になっております。

この地域も大型車が難く通れるというのが将来的に発展していくための大きな要素になると思う。基準がそうになっているからとかではなく、もっとこの地域の将来的なことを見据えて取り組んでほしい。

一部のガードレールを真っすぐのものではなく、川側に少し膨らんだものをつけた箇所もあり、少しでも車道が広くなるような形で対応しているということだけのご理解いただければと考えております。

今の道路の舗装はこれで終わりか。あまりにも雑だと思うので、市の方で工事担当に厳しく言ったほうがよいのではないか。

現時点で基層まで打っている段階で、舗装自体が完成しているわけではございません。舗装の最終的な仕上げに関しては、旧商業高校脇の拡幅工事と合わせて施工する予定でございます。

旧商業高校の道路から上の野球場に行く道路の整備は、市としては何か計画されているのか。

今の計画ではないということになっております。

板木山の関係の道路を整備することをできれば考えてもらいたい。

球場のほうに出るといのは道路勾配がかなり急になってしまいますので、計画できるかどうかも含め、今後の課題であると考えております。

河川に上り下りするためのタラップに、転落・墜落防止を考慮したものを取り付けてほしい。

タラップの手すりは約束した事項ですので、責任を持って設置します。

昔の道路にある避難所の大きな看板をどこかに設置し直してほしい。

現場確認の上、対応について検討したいと思います。

国道からの埋め立て地のほうの道路の街路灯が、樹木に隠れていて明かりが見えない暗いところがあるので、整備していただきたい。

一度現地を確認させていただいて、必要性を見ながら対応を検討していきたいと考えております。

年寄りが多いので、避難する際に、徒歩で45号線に上る階段では難しい。どこに避難するのか、誰を連れて避難するのか、渋滞などがおきて逃げ遅れたりしないような車で逃げる避難訓練をすればよいのではないか。

車避難が可能なところは、これから特に外来者があまりこないところや、地形、道路の幅などの状況により、地区の中でルールを作って避難可能にするというものはできますが、津波に関しては徒歩避難が原則だと考えております。

板木山の道路が現在使用できなくなっているが、本来山主が使用できる道路であったはずなので、復興計画以前の問題できちっと対応してもらわないと困る。

現在、石が崩れたり側溝の鉄の部分がかたまりなど、安全性を考えると通行をさせること自体が無理になっているということをご理解いただきたいと思っております。

公園の整備がまだまだ見えないのだが、もう少しきちっとした形で早急な整備をしてもらいたい。

公園につきましては、区画整理事業の中でどこまでできるかというのが非常に最低限の範囲なものですので、後の将来管理者となる都市計画課と地元の皆さんと意見のキャッチボールをさせていただきながら、検討を進めていきたいと考えております。

復興事業については、可能な限り皆さまの期待に応えられるよう進めていきたいと考えております。

1日も早い復興事業の完了に向け、今後も全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せてご覧ください
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp>

協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部 TEL:0193-27-8479
FAX:0193-22-2686